

平塚柔道協会は元気一杯、頑張っています!

☆ 平 柔 通 信 ☆

平塚柔道協会発行
責任者 会長 奥山晴治

久しぶりの有観客試合開催! それぞれみんな頑張りました!



6月12日(日)、横浜市武道館において、神奈川県小学生柔道大会が開催されました。これまでは全国大会予選でしたが、小学生の個人戦は廃止されたことから、県主催の大会となりました。17名の選手が、個人トーナメント試合と勝ち抜き試合に、それぞれエントリーしました。久しぶりの有観客試合であり、選手の中には初試合となる子もいました。全員が試合を通じて多くのことを学ぶことができたようです。

【トーナメント戦】

準優勝(6年女子+60Kg上水)

3位(5年女子-39Kg馬場・6年男子-40Kg原田・
-60Kg真田、6年女子-40Kg新井)

【勝ち抜き戦】

3人抜き(3年林田)2人抜き(4年佐藤)

マルちゃん杯関東少年柔道大会へ出陣! 3回戦で散る!

6月26日(日)、東京武道館において、マルちゃん杯関東少年柔道大会が開催されました。当協会は、新井・馬場・大倉・真田・上水というメンバーで、全国大会を目指し挑みました。1回戦は名倉柔道育成会に4-1で勝ち、2回戦は会田道場に5-0勝ち、3回戦に進みましたが、墨田柔道塾相手に1-2で敗れました。金井監督の戦評では、「非常にもったいない試合、組み手の取り方、技出しの勇氣など、様々な面で課題があった。」とのこと。この経験を次に生かして、確実にレベルアップしていこう。「試合は選手を育てる。」頑張れ平柔!



コロナの感染がまだまだ続いています。特にこれからは熱中症にも注意する必要があるところ、同じような症状ですので、特に注意が必要です。水分補給・コロナ対策徹底願います

(7月の予定) 原則、火曜日・土曜日に実施です。※詳細はおって連絡します。

今月の目標・

稽古の量で試合の勝ち負けが決まるのではない。考えた稽古を。

(雑感) ~常に最悪を想定する~ 6月26日(日)、全日本学生柔道優勝大会が有観客試合で行われた。筆者はBSで決勝戦を観戦。結果は、全日本王者の国士舘大齊藤選手と東海大主将の村尾三四郎選手の代表戦へともつれ込んだが、GS10分を越えた熱戦は、体重差70Kg以上ある90Kg級の村尾選手が、寝技で齊藤選手を押さえ込み、東海大学が6連覇を達成した。前評判では「圧倒的に国士舘大有利」との下馬評、そして代表戦となったところで、全日本王者の齊藤選手の登場で、国士舘大の優勝を確信した方も多かったであろう。しかし、村尾選手の戦いは、齊藤選手の良いところを徹底的に潰して、自身が勝つための形を作ろうと、特に相手方の袖口を絞った引き手については、最後まで徹底していた。改めて、東海大学の団体戦の戦いは、「最悪を想定して準備し戦っていた。」と感じた。どんな状況に追い込まれても、その状況からいかにして勝機を見出すか、そんな稽古を続け、準備していたのであろう。上水監督の指導力と采配には脱帽である。「常に最悪を想定し、いざ有事が発生した際には楽観的に行動する。」まさに危機管理の要諦である。筆者も業務上、常に意識している言葉であるが、この学生の試合を見て改めて学習したような気がした。(五)